三角形 OAB において,辺 AB を 2:1 に内分する点を D とし,直線 OA に関して点 D と対称な点を E とする。 $\overrightarrow{OA} = \overrightarrow{a}$, $\overrightarrow{OB} = \overrightarrow{b}$ とし, $|\overrightarrow{a}| = 4$, $\overrightarrow{a} \cdot \overrightarrow{b} = 6$ を満たすとする。

- (1) 点 B から直線 OA に下ろした垂線と直線 OA との交点を F とする。 $\overrightarrow{\mathrm{OF}}$ を \overrightarrow{a} を用いて表せ。
- (2) \overrightarrow{OE} を \overrightarrow{a} , \overrightarrow{b} を用いて表せ。
- (3) 三角形BDE の面積が $\frac{5}{9}$ になるとき , $|\vec{b}|$ の値を求めよ。

< '21 北海道大 >